

唐津の祭り⑥祇園祭と各地のくんちほか(1/4)

分野 文化

地域 全域

◎地図・写真・統計資料など

祇園と親しみを持って呼ばれる神は、八坂神社で、祭神は素盞鳴命（すさのおのみこと）とし、疫病を防御する神として信仰を広めた。

祭は、お祓いと山傘(山鉾)、風流踊りを中心とする賑やかなもので今日の夏祭りとして全国で広く行われている。

■小友祇園祭

万治元（1658）年、当地に流行したコレラの疫病退散を祈願し、笹竹に御幣を付けて村内を回ったことが神事の始まりだと言われている。

現在では旧暦6月14日と15日の大潮の日が祇園祭開催と決められている。

約1週間かけて高さ15m、重さ約3トンの山笠を地元の青年たちによって造り上げられる。

祭当日は、干潮直前にお祓いを終え、「イナイ棒」と呼ばれる4本の棒を約

50人の法被姿の若者が担ぎ上げ、鉦と太鼓による囃子に乗り、「アーサッサ」の掛け声とともに、吹流しや餅花で飾った山笠は海の中へと進む。

【場所】唐津市呼子町小友地区

【開催期日】旧暦6月14日・15日

【問い合わせ】呼子観光案内所 0955（82）3426

■小川島祇園祭

顔に化粧をした男たちが、鐘や太鼓、笛の音色に合わせて山笠をひいて島内を廻る。

【場所】唐津市呼子町小川島

【開催期日】旧暦6月14・15日

～2/4へつづく～



小友祇園祭

(唐津市フォトライブラリーより)

◎引用・参考文献（出典）

◆唐津市フォトライブラリー

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467